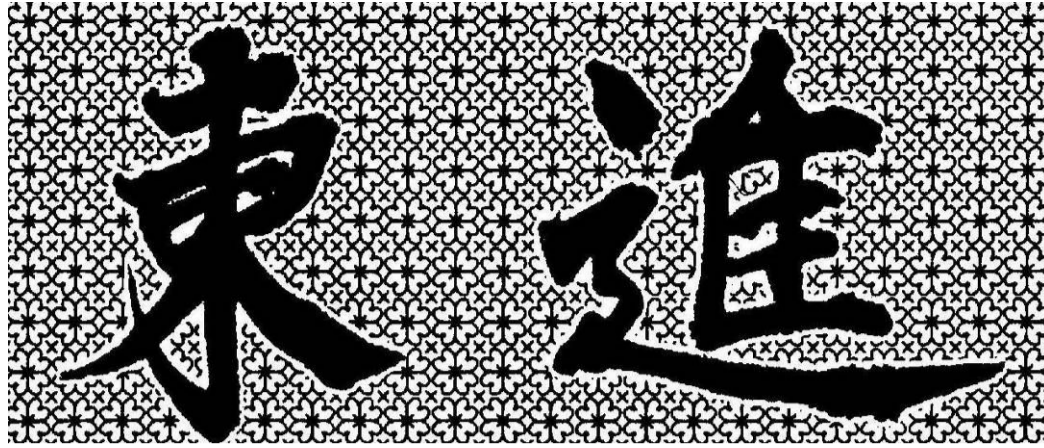


第36号

平成20年
9月30日

題字

植木 満
初代東進会会長



発行所

土浦一高東進会
〔茨城県立土浦一高
進修同窓会東京支部〕

発行人

東進会会長 大野 金一

事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階
宮崎法律事務所 TEL 03-3221-3711 FAX 03-3221-3713
ホームページ http://www.geocities.jp/t_toshinkai/

平成20年度 東進会 総会・懇親会 6月21日 学士会館で開催
「裁判員制度始まるー司法の行方は」 大野金一会長が講演



懇親会のベリーダンス 林原由佳さん(右)と共演する長戸琴副会長(左) 写真提供：大塚保氏(昭20卒)

次回東進会総会・懇親会の予告
日時 平成21年6月14日(日) 12時から
場所 神保町駅そば 学士会館 202号室

当日は梅雨の時期ながら総会・懇親会の前は雨が上がり、母校からの楽器搬入等にも問題がななくまずまずの天候に恵まれた。出席者は来賓2名を含め102名。総会・懇親会は、1部、2部に大別、企画され、1部は母校吹奏楽部・応援指導部の演奏演技と総会議案の採決、来賓挨拶、特別講演など、2部は出し物のある懇親会という構成であった。

総合同事は、前年度と同じ昭50年卒の藤田加奈子さん(茨城放送アナ)、相変わらず、その進行は見事であった。

各種行事は、校内試験が間近なのに大挙参加していただいた母校生徒の吹奏楽演奏で始まり、同じく応援指導部との合同演技を経て、核心に進んだ。19年度決算と20年度予算、会長以下幹事長まで全員が継任の改選人事は滞りなく承認された。

本年度総会時の特別講演は、大野会長が直接担当、来年5月から始まる裁判員制度に関する演題であって、皆様方は場内で配布された要項資料を参照しつつ傾聴した。

最長老の出席者は94歳の茂在寅男大先輩、懇親会における乾杯音頭の挨拶は今回も若々しく、われわれ後輩が目標とすべきものであった。

第1の出し物は落語。美浦村出身、金原亭馬の助師匠の小話を含んだ百面相は会場の雰囲気によく適合し、さすがにベテランの味であった。

第2はダンス。弁護士資格があるのに薬剤師・ダンサーとして活躍している林原由佳さん、本来のベリーダンスに諸国の要素を取り入れた踊りは魅力的で、女性陣のほか男性をも踊りにまきこむほど会場が盛り上がり大変好評だった。

なお、本年度総会・懇親会にあたっては、当番幹事がなかなか決まらず、結局、幹事長と同じ昭43年卒が中心となったが、当日の配布資料に本件の記述が欠けており、進行上、唯一の齟齬をきたしたのは残念であった。

特別講演

裁判員制度始まる 日本の司法はどうなる



大野金一氏(昭和31卒)

この記事は、大野東進会会長の講演の内容の要旨を記述したものです。

当日は、配布された「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律の概要」に基づき話が進められました。(酒井隆二)

裁判員の参加による裁判は、来年の5月から始まりますが、この制度は、平成12年の司法制度改革審議会の答申に基づき、法曹人口の大幅増員、法科大学院の創設、官僚化した司法運営の改善等とともに司法改革の一環として設けられました。

一 裁判員制度のあらまし

1 対象

裁判の対象は、刑事裁判だけで民事事件は対象になりません。その中でも、死刑又は無期の懲役・禁固に当たる罪に係る事件と短期一年以上の法定合議事件であつて故意に犯罪行為により被害者を死亡させた罪に係るものですが、暴力団事件など裁判員やその親族等に危害が加えられるおそれがあるような事件は対象からはずされます。

太平洋戦争中に廃止になった陪審員制度では被告人が辞退できたので陪審に係る事件が少なかったのは異なります。因みに、陪審員の場合、陪審費用は被告人負担とされています。

平成17年度の刑事事件数で計算すると、11万1724件中3629件(3.2%)が対象になる計算です。

2 合議体の構成

9名のうち裁判官3名、裁判員6名で構成されます。被告人が控訴事実を認めている事件では裁判官1名と裁判員4名で進められます。

職業裁判官の割合を多くするという意見が強くありましたが、それでは市民の参加する裁判にならないということになり、裁判員の割合が多くなりました。

3 裁判官・裁判員の権限及び評決

有罪か無罪かの決定及び量刑の判断は合議体の過半数であり、かつ、裁判官及び裁判員のそれぞれ1名以上が賛成する意見によります。

かつての陪審員制度では、量刑の判断は裁判官だけしかできませんでしたが、陪審員制度では、控訴できませんでしたが、裁判員制度は地方裁判所だけの特例なので、控訴によって高等裁判所が従来どおりの手続きで審理されます。

4 裁判員の資格・選任手続等

裁判員は、衆議院議員選挙の選挙権を有する国民の中から、地裁本庁の管轄区域ごとに、1年ごとに無作為抽出で裁判員候補者名簿が作成され、裁判員はその中から事件ごとに無作為抽出されます。

(欠格事由)

義務教育未終了者・禁固以上の刑を受けた者・身体故障者(就職禁止事由)

(就職禁止事由)

国会議員・国務大臣・一般職の指定職以上・特別職・防衛省の一定職以上・司法三者及びその経験者・弁護士・司法書士・知事・市町村長・自衛官・教授・准教授・公証人・司法関係機関の職員・司法三者の有資格者・禁固以上の被告人・逮捕勾留中の者

(辞退事由)

また、辞退できる場合は次の場合です。70歳以上・会期中の地方議会議員・学生・生

徒・過去1〜5年以内に裁判員に関わった者・重い傷病・親族の介護養育・事業に著しい損害・父母の葬式及びこれに準ずる事由

勿論、被告人及び被告事件関係者は公平の立場から裁判員にはなれません。

裁判員には1万円、裁判員候補者には8千円の日当が考えられています。

5 裁判の手続

公判前手続を必ず行なうことになっていま

現在の裁判は調書裁判と言われるくらい警察や検察での密室での供述調書が中心になって裁判が行なわれていますが、裁判員制度では証人の公判廷における供述が中心になります。警察や検察庁での取調べは全部ビデオにとって公判廷に出すよう求められています。

裁判員も証人や被告人に対し、尋問や質問をすることが出来ます。

調書ではなく公判廷における証言が中心となるので、裁判員は泊まり込みで集中審理することになります。

6 罰則等

裁判員候補者や裁判員の不出頭は10万円以下の罰金に処せられます。

また、裁判員は担当した事件に関して知った事実を他に漏らすと罰せられます。

雇用主は、従業員が裁判員の職務のために仕事を休んだことその他裁判員になったことを理由として、解雇その他不利益な取扱をしてはなりません。

何人も、裁判員を特定できるような氏名等を公開してはならず、担当事件について裁判員に接触してはなりません。

二

以上が来年から実施に移される裁判員制度のあらましですが、もともと裁判員制度に対しては強い反対意見がありました。世論調査でも、主として国民に対し過重な負担を強いという観点から反対意見も根強く、実施を

延期すべしという野党の意見もあります。

本来社会的な経験が豊かで真実の発見に長けた職業裁判官が事実認定をするのが理想ですが、机上の勉強だけしかしていない裁判官と最高裁判所の閉鎖的な官僚主義を打破するにはこれしかないと思われる制度です。

あとは、運用の妙を期待するしかありません。職業裁判官の意見に盲従したり、職業裁判官でさえ追従する専門家の鑑定意見のとおり認定するようでは、市民が参加する裁判という本来の目的が生かされません。

三 近年の犯罪の傾向

秋葉原や荒川沖の多数殺傷事件のように、いわゆる通り魔事件が多発しています。

一説には、環境ホルモンが影響しているという法医学者の意見もありますが、日大の森昭雄教授の「ゲーム脳」説によると、ケータイやゲームばかりやっていると、前頭前野を全く使わないため、その機能が低下し、感情のコントロールや他とのコミュニケーションができなくなり、突然切れたり、羞恥心がなくなったりするというものです。

学説としては異論もあるようですが、この二つの事件の犯人は、何れもその世界では有名なゲームだったというものであり、秋葉原事件の犯人は、「今日は生憎の雨(池田小の事件は超えられない)、だけど予定通り実行する。」という書き込みをしての犯行でした。

人を人と思わない感覚、これらの事件は単なる殺人ゲームに過ぎない。ゲームというヴァーチャルな世界に入ると現実の世界と区別がつかなくなると言われるが、それは「ゲーム脳」の考え方によるとよく理解できます。

電車の中で平然と化粧をしたり、混んでいる地下鉄の座席で平然と弁当を食べているオフィスレディをみるとなるほどと思わせる学説です。もし、裁判員に選ばれてこういう事件を担当したら、どう裁きますか。

総会

開会宣言 長戸琴副会長



生徒の演奏・演技



写真上右 大野金一会長挨拶
写真下右 幕内邦夫副会長報告
写真上左 村松輝美校長挨拶
写真下左 椎名操県東京事務所長挨拶



懇親会

乾杯発声
茂在寅男先輩



開会宣言
君山副会長



落語 金原亭馬の助師匠
漫談・百面相



総合司会
藤田加奈子さん
(昭50高卒)

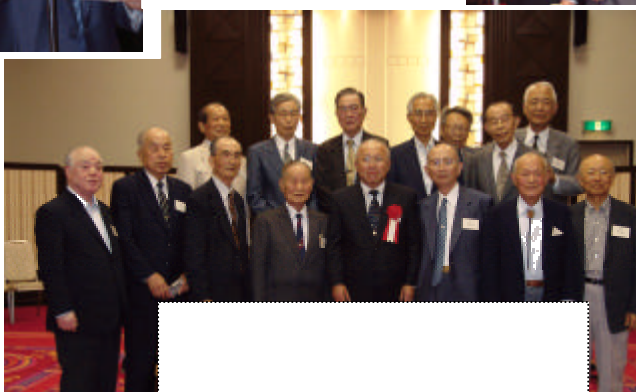
こちらも決まってる!



初参加者挨拶



閉会宣言
渡邊副会長



写真提供 沼里征二氏(昭33高卒)

平成20年度 東進会
 総会・懇親会 出席者名簿

()内：旧制土中・土浦一高の卒業年次

来賓



茨城県東京事務所 所長
 椎名 操 様



土浦一高 校長
 村松 輝美 様(昭42)

会員及び賛同者
 敬称略



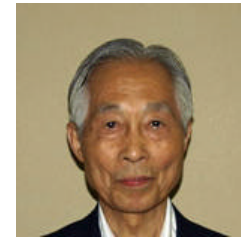
茂在 寅男 (昭6)



大津 一郎(昭20)



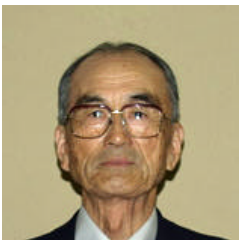
大塚 保(昭20)



狩谷 孝雄(昭20)



栗山 光夫(昭20)



栗栖 三男(昭20)



酒寄 和郎(昭20)



廣瀬 琢朗(昭20)



松尾 一郎(昭20)



山口 進(昭20)



渡邊 光夫(昭20)



木島 幸夫(昭24)



酒寄 恵行(昭24)



砂山 嘉幸(昭24)



川村 博通(昭27)



坪井 洋(昭27)



池澤 卓(昭28)



砂川 憲二(昭28)



大野 金一(昭31)



菊地 清(昭31)



倉持 功(昭31)



小松崎 皖(昭31)



五頭 隆治(昭31)



酒井 隆二(昭31)



関 隆之(昭31)



高野 久弘(昭31)



田崎 秀男(昭31)



田村 恒(昭31)



直江 正博(昭31)



中原 之夫(昭31)



中村 信秀(昭31)



中島 進(昭31)



蓮 幸治(昭31)



引田 守(昭31)



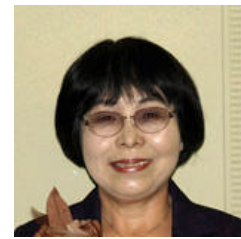
水越 勝雄(昭31)



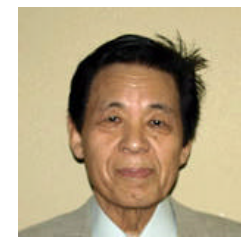
本川 軍治(昭31)



山田 晴康(昭31)



山本 嘉子(昭31)



渡辺 隆(昭31)



伊藤 實(昭32)



服部 彥雄(昭32)



沼里 征二(昭33)



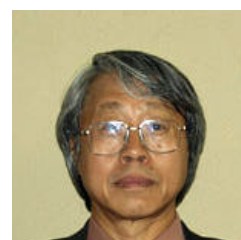
菊田 佳幸(昭36)



木口 健児(昭36)



宮本 淳一(昭36)



若山 宏(昭36)



矢口 照雄(昭37)

謳粹会一〇周年記念祝賀会 盛大に開催

謳粹会一〇周年記念祝賀会は平成20年9月11日(木)新宿三井ビル54階の三井クラブ(29卒池田三男様の紹介)の都心が一望できる大広間にて立食パーティ様式により盛大に開催された。

午後6時半、デュエットのフルートとハープのトリオ(31卒山本嘉子様の紹介)による演奏、イントロは「Over The Rainbow」で先ず参加者の注目を喚起した。若き日のジューデイガーランドが脳裏を掠めた。

6時45分、長戸幹事の司会で祝賀会が開られ、中村臨時会長代行の「篠田会長へのお礼と病快癒の願いと謳粹会の継続と発展の祈念」の挨拶、東進会大野会長の「謳粹会の草創の思い出と今後の期待と先の東進会総会の運営の方々への御礼」の祝辞があった。

続いて渡邊光夫氏の「謳粹会の発展と皆様の健勝祈念」の高らかなる発声で盛大に乾杯をした。

同時にトリオによる椿姫の「乾杯の歌」の演奏が奏された。(乾杯の相伴の強要等で間合いずれが残念)

その後8月19日突然に逝去された東進会役員、謳粹会幹事の酒井隆二様をしのぶ「Amazing Grace」が厳かに奏され参加者全員で「冥福を願った」。



故酒井隆二氏を偲んで Amazing Grace を聴く

文 中村信秀氏(昭31高卒)

写真 蓮 幸治氏(昭31高卒)

当日の参加者総勢56名、20年卒の大塚様、松尾様、渡邊様がいつもの通り揃ってお元気で参加され、特に土浦方面からの参加者も多く、また40年から50年卒の方々も挙って多く参加され、一〇周年記念祝賀会にふさわしい盛大で和やかな宴となった。

特に56年卒の酒井様、平5年卒伊東様のご参加は当会の将来に希望を与えてくださった。

最後に全員参加によるジャンケンチャリティーを行った。この収益金は後日茨城放送チャリティーベル基

金に寄付された。

そして、8時半、東進会幹事長宮崎好廣氏の行き届いた懇切なお礼を含めた挨拶でお披露と成った

なお、久松信明様が自作のぐい飲みを参加者全員分お土産として準備提供して下さい大変喜ばれた。

また、フルート浜川慎司氏、向田寧子氏及びハープ清水菜華氏はこの会の趣旨と雰囲気に対応しい曲をご準備下さり、すばらしい華やかさをかもし出して下さった。



謳粋会の開催状況

第116回 平成20年4月1日(木)

土浦 HOTEL CANKOH(霞ヶ浦観光ホテル) ホテル4階の会場に入ると、正面は霞ヶ浦に面しており、窓から土浦港が見える。小学生の頃、ここに「あやめ丸」、「さつき丸」という名の定期船が就航しており、鹿島・香取の遠足の折、乗船したのだったが、世の中にはまあ、なんと、大きな船があるものだと素直に感激したのを昨日のように記憶している。500トン程度だったのだろうか。向かって右側の窓からは、当時「ドック」と呼んでいたところ、今はなんとこののだろうか、長方形の水域があり、たくさんヨットが係留されている。



当日ご参加の野村ルナさん(昭38卒)の説明によれば、そのドックの左奥には土浦一高のヨット部の艇庫があるという。

人氏の乾杯の音頭が始まる。

料理は和洋盛込み料理、酒は持ち込み可とのことにて、昭31卒の酔夢・横手一郎氏に手配をお願いしたが、「霧筑波」、「一人娘さやか」も選ばれていた、さすが酔夢。この二銘柄は平成10年9月の第一回謳粋会にも供された地元産の超一級名品であり、これは大満足であった。参加者は30名(露木修記)

第117回 平成20年5月1日(土)

奥高尾「うかい鳥山」

昨年の奥多摩ハイキングが好評だったため、若葉薫る5月は高尾山とその近く奥高尾にある「うかい鳥山」に決めた。越中五箇山の合掌造りの建物群と野趣溢れる料理で有名である。

前夜の天気予報で午前中は曇りということだったがあいにく当日は朝から雨だった。しかし、その雨にも負けずに登山された方が5名おられた。午後1時からの謳粋会は、予定の全員が参加した。つくば市からは前回に引き続き相澤興二氏が、神立からは久し振りに中島良平氏(何れも41年卒)が遠路はるばる参加され、今年傘寿を迎えられた大塚保氏、松尾一郎氏の長老もお元氣な姿で参加された。

ビールで乾杯したのは30分遅れだった。大きな加茂茄子の田楽でとろりとした味噌の味に舌鼓を打っていると、次々と野趣溢れる食材が運ばれ、メインの特選鶏は、教えられるように皮の方から炭火で焼くと、ふわっと柔らかい食感で、秘伝のたれにつけたその味は、確かにお店のご自慢のとおりだった。

麦とろろ飯で締めて会席はお披露となりでしたが、いろいろどりの料理は、竹酒と三面の窓から近くに眺められる奥高尾の新緑とマッチして、皆さん充分堪能しておられたようです。

席上、大塚先輩が、ハーモニカを取り出されて、土浦一高校歌や同期の桜、懐かしの唱歌を、優しい旋律で演奏されたのには、全席水を打ったように聞き入って、アンコールの声も飛び出すほどでした。(大野金一記)

第118回 平成20年6月1日(木)

鶯谷 豆腐料理「笹乃雪」(参加者23名)

第119回 平成20年7月17日(木)

日本橋室町 穴子「玉ゐ」(参加者17名)

第120回 平成20年8月14日(木)

銀座 沖縄料理「竹富島」(参加者15名)

半了のささやき(第6回)

P D C A

高山寺 半了

半了のささやきも3年目から題名を「英語」に模様替え。前回第一弾は「KY」でしたが如何でしたか? 「KY」空気を読めないも今やすっかり定着。一方、本来の意味「危険予知」はすっかり死語になってしまいました。

今回第二弾は4文字「PDCA」。前回が「危険予知」だから、今回は「そうか」と閃いた貴方、流石企業戦士の鏡。どうせ又、和製英語かビジネス用語かと軽蔑の表情が顔にでた貴方は鋭い。が、半分は正しいが、今回はれっきとした英語。

「PDCA」とは「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(点検・評価)」「Act(行動・改善)」の頭文字。最後のActを次のPlanに活かして、らせん状に品質や環境管理、業務の維持向上等の「継続的改善」のスパイラル・マネジメントのキーワード。

さて本題です。「計画して実行は当然」と思われた貴方は流石。でも、それは昔々のお話。昨今は計画と周到な準備なんて面倒な事はしない。思いついたら即実行。ムシヤクシヤしたら無差別殺人。お金が無ければコンビニから失敬。大学の研究すら最近専ら「コピー」。卒論はネットで関心事を検索。コピーして尤もらしくペーストし並べる。創造どころか盗作。教授の論文も結構その手が多いとか。企業でも、課題設定や計画なんかお座成り。いきなり実験や試作。社員の多くは「指示待ち症候群」。自分で考えず上司からの指示を黙々とやるだけ。つまり「作業」であって「仕事」をしない。更に「CA」が不十分。やりっぱなしで考察なし。何度も懲りずに同種の失敗をする。「C」点検・評価」は実は最も大事。「実行」すれば必ず「結果」が出る。その結果を「上手く行ったか? 失敗したら原因は何か? もっと上手くやるには何処を改善したらいいのか?」と考察し、次の計画に反映させるのが「A」行動・改善」。

一方、「CA」無くして「PD」のみの典型は政治家と官僚。「P」計画で権益確保にやたら熱心、「D」予算の実行のみ。実施に当たっての「C」点検」が全く無い。変化の激しい社会で十年も道路予算を固定する仕組みや、ガソリン税の暫定税率をめぐる議論も、霞ヶ関の異常なタクシードも、「税金を如何に減らすか、限られた予算を如何に有効に使い切るか」、つまり「CA」の議論ではなく、単に予算を使い切る実行「D」だけ。選挙公約に至っては口だけで、実行すらない。

そこで今回のささやき「過ちは改めるに如かず」。西郷隆盛も愛読した幕末の儒者・佐藤一斎の「言志四録」。中でも六十歳頃の語録「言志後録十七条」。「過ちというものは慎みのないことから起る。よく慎んでいけば、過ちは自ずから少なくなるものである。もし過つたならば、速やかに改めることである。速やかに改めるというのことも、慎むことである」(渡邊五郎三郎監修「言志四録」を読むより)。いや、耳に痛い。お互い年金生活でも、慎みまで無くしたくないものですね。

処で、「中国百年の夢」北京五輪も、華々しい開会式、水泳や陸上の数々の世界新記録、中国が史上最高のメダル獲得で成功裏に閉幕。長期間かけ国家計画をたて、超大国発揚の準備を周到にし、直前の想定外の四川大地震にもめげず、見事に北京五輪を実施。各国での聖火トランプや、開会当日のチベット動乱と武力鎮圧、過剰なテロ警備と報道規制等々も何度も「PDCAサイクル」を廻し訓練を積んだ成果だろう。

最後に「屁理屈言うな。そんな事なら昔からやつてるぜ」。そうですね。反省会は重要な「C」点検・評価」ですね。東進会が長年盛会の秘訣は、自然に「PDCA」を廻しているからです。当番学年幹事がしっかり総会の計画を練り、必ず「反省会」。単なる飲み会にならず、反省はしっかりして翌年に活かす。会報「東進」の編集も然り。酒井隆二編集幹事を中心に企画、原稿依頼に督促、編集、反省会を何回も経て発行される。酒井幹事の気配りある心身共の労や多大。感謝。

酒井隆二君を偲ぶ



この9月に入つての日曜日長戸琴さんが耳を疑った。数日後の謳粋会一〇周年記念祝賀会に、退院直後とはいいい、元気な姿を見せてくれるだろうと思つていたのである。

8月初めに腹部に動脈瘤が見つかり、8月19日に手術をして、9月初めには退院して9月11日の謳粋会一〇周年祝賀会には出席すると入院前に言っていた。長戸さんもそう聞いていたので、気になって酒井君のご自宅に電話したところ、奥さんから話しを聞いたということである。奥さんは、酒井君から直前に東進会の皆さんには心配かけるから知らせないように言われていたが、私宛に手紙を書いているところだったそうである。

その手紙は、その二、三日後にわが家へ届いた。それによると、8月17日にカテーテルで造影剤を入れて検査をしたところ、その後吐き気を催し、結局腹部動脈瘤が破裂して8月19日未明に亡くなった、ということである。自宅は普通に元気に動いていたのに、なぜ病院のベッドの上で死んだのか、嘆き悲しむ心情が綴られていた。酒井君のお姉さんと奥さんの親戚だけで葬儀告別式を済ませたということだった。身近だった彼が既に二〇日間もこの世にいなかったということがとても信じられなかった。

酒井君は、東進会の副幹事長として、特に東進会の会報「東進」の編集を担当されていた。本号も、入院前に、総会関係の頁は、自ら撮影した出席者全員の顔写真は勿論全部完成させて私にメールで送ってきていた。他の頁もレイアウトをできていてあとは、私と高山君の記事を埋め込

むだけになっていた。長い間、篠田さんが細やかにワープロ専用機で作成した「謳粋会の記」を「東進」用に再入力されてきた。その労力は、緻密な酒井君でなければ到底できなかった。

その謳粋会には、最初の1年間だけは3回だけだったが、その後9年間は無欠席である。酒は飲まないのに。毎月謳粋会の1週間後に開催する謳粋会の幹事会にも欠かさず出席されていた。その席には、「東進」の編集計画も持ち込んで皆の意見を聞くので、謳粋会幹事会は「東進」の編集会議にもなっていた。それほど東進会の活動には縁の下に隠れて情熱を燃やされていた。

9月11日に新宿三井クラブで開かれた謳粋会一〇周年祝賀会に配布したプログラムには出席者の一員として名を連ねた。謳粋会一〇周年を一緒に祝ってくれたと思う。フルートとハーブの演奏では、特に酒井君のために「アメージンググレース」を演奏していただいた。出席者一同、しみりと聞き入っていた。会食の席でも酒井君の話題でもちきりであった。

酒井君、東進会のために本当にありがとうございました。これからも、私たちの心の中に一緒に生き続けますが、本当にお疲れ様でした。どうか、安らかに眠りください。合掌

東進会会長 大野 金一

進修同窓会会長 平田公敏氏のご逝去



生前の平田公敏氏
東進会の総会出席時
平成 19.6.14 撮影

東進会の本年度総会時大野会長からお知らせしたとおり、東進会の母体である進修同窓会の平田会長は、平成20年6月16日に肝臓

癌により急逝されました。享年74歳。合掌。

東進会ゴルフ

大野 金一

今年も、東進会ゴルフは5月連休前日の5月2日東筑波カントリークラブで開催された。東進会は毎年メンバーが少ないので、地元と土浦二高の協力を得て行なっている。

東進会員は、会長のほかに、井坂正、菊地清、中村信秀の各氏と元会員の栗原凱三氏だけである。企画担当の鈴木良治副幹事長は腰痛で、いつも参加の露木修氏は肺炎で不参加だった。今回は、地元の石岡市(旧八郷町)から比企光雄氏(昭24高卒)にご参加いただき、その若々しいスウィングを拝見した。

また、元校長の青山和義、三輪志郎両氏にも毎回参加していただいている。



競技は新ペリア方式で行なっていたが今年も地元組の山内忠夫氏が優勝した。同氏はス

パーを他に譲って悠々自適だそうであるが、参加者全員に信州そばのお土産を頂戴した。

編集後記

今回も総会などに関し、東進会の会長以下多くの会員の皆様からお願ひした原稿のほか多様な資料提供をいただき有り難うございます。

沼里様と高山様からの会場写真と映像は、正確な記述をするための基礎資料となりました。特別講演につきましては、大野会長から東進用にまとめた原稿を別にいただきました。

恒例となりつつある顔写真は、目つぶりなど素人写真にありがちな失敗が2件ほどあり、前年と前々年の写真で代替え処理致しました。

右編集後記が故酒井隆二君の遺稿となりました。彼が入院前に、1〜5頁と共に仕上げたものであります。

その後、謳粋会一〇周年の記事、写真を待つて、謳粋会関係、東進会ゴルフの記事、写真の頁と「高山寺半了」氏の記事を追加して完成させました。

酒井君自身の編集後記と彼の追悼文が混在して何とも奇妙な感じですが、後の編集をして、改めて彼の苦勞が偲ばれました。

謳粋会一〇周年祝賀会関係は、蓮幸治君の撮影した素晴らしい写真に音楽に造詣の深い中村信秀謳粋会会長代行の「謳粋会の記」をそのまま掲載させていただきました。

高山寺半了氏の筆も益々冴えて来ましたが、お陰さまで、月遅れになりましたが「東進36号」を発刊できました。(大野金一記)